

アカデミー」春の講座 開催!

「美しいキモノ
アカデミー」

受講者
募集

「本場奄美大島紬展」特別企画 岩下尚史さんトークショー

テレビやラジオ、雑誌など多くのメディアで活躍中の作家・岩下尚史さん。日本の伝統芸能やきもの文化への造詣が深く、小誌では人気エッセイ「^{あづまのてふり}東都風流」を4年にわたり連載中です。きもの愛好家でもあり仕事だけでなくプライベートでもきものを小粋に着こなしていらっしゃいます。今回のトークショーでは、本場奄美大島紬協同組合の理事長・前田豊成さんをお相手に、大島紬の魅力について語り尽くします!



写真は小誌2017年冬号「男のきもの」特集で、きもの愛好家としてご登場いただいたときのもの。きものに、ステッキや洋ブランドのバッグなどを合わせて。小物使いもおしゃれです

[日時] 2019年3月21日(祝・木)
14時～15時

[会場] 「本場奄美大島紬展」
時事通信ホール
東京都中央区銀座5-15-8

[定員] 40名
(応募不要・先着順/当日は14時30分から入席可)

[受講料] 無料
※当日、大島紬でご来場された方には
大島紬の小物を贈呈

[主催] 本場奄美大島紬産地再生協議会
本場奄美大島紬協同組合
本場奄美大島紬販売協同組合

[協賛] 美しいキモノ編集部

問い合わせ先 ●本場奄美大島紬協同組合 ☎0997-52-3411

注目ポイント <地域で異なる織り模様>

精緻な織り模様のモチーフは、自然の草花や日常の風物などに由来しています。その種類は多彩で、奄美大島の各集落ごとに独自に発展。トークショーではスライドを用いながら模様についても紹介。あなたが着ている大島紬が、どこで作られたか分かるかも?!



写真右は「龍郷柄」。奄美大島の龍郷町で誕生し、ソテツの葉とハブがモチーフ。写真中央の柄は「秋名バラ」。龍郷町内の秋名地区で誕生したバラ(=ザル)がモチーフです

本場奄美大島紬展 「絆～先人から子孫へ受け継がれる技」開催!

西の大島、東の結城と並び称される「紬」の最高峰「本場奄美大島紬」。九州南方海上に浮かぶ奄美大島で誕生した伝統的織物で、裾さばきがよく光沢のあるつややかな地風と、精緻な織り模様が人気です。来たる3/21(祝・木)～23(土)の3日間、本場奄美大島紬が賑々と受け継いできた伝統の技と、人々の心を捉えてきたその魅力を伝えるため、東京で展示販売会が初開催されます。産地の織元が多数来場し、縮機や泥染め、機織りなど大島紬を特色づける製作工程の実演を間近で見ることが出来ます。そのほかトークショーやワークショップ、島唄ライブなどさまざまなコンテンツがめじろ押し。貴重な機会をお見逃しなく!



[上] 大島紬の特徴である縮機
[右] 亀甲に多種多様な模様を詰めた設計図

3/21(木・祝) 13:00～17:00 3/22(金)、23(土) 10:00～17:00
[会場] 時事通信ホール

<島唄ライブ>

3月22日(金)、23日(土)の2日間にわたり、奄美市出身で数々のコンクールで受賞歴のある平田まりなさん(右)& 辻美里さん(左)のお二方がご登場。見事な島唄を披露します。



<泥染めワークショップ>

3日間随時開催。泥染め用ストール代1,000円